号外

新潟日報

2026年(令和8年)3月25日(水曜日)　題字 會津　八一

発行所　新潟日報社
本　社 〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1
黒埼本社 〒950-1189 新潟市西区善久772-2
購読は0120-0840-20
www.niigata-nippo.co.jp
詳しくは新潟日報で

日本文理8強ならず

花咲徳栄に大敗し、雨の中でグラウンドを引き上げる日本文理の選手たち＝25日、甲子園球場

四球、失策で大量失点

センバツ　安達奮闘2安打

花咲徳栄	0	0	4	7	0	0	0	6	0	17
日本文理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第98回選抜高校野球大会（センバツ）は25日、兵庫県西宮市の甲子園球場で2回戦を行い、県勢の日本文理は花咲徳栄（埼玉）に0－17で敗れ、20年ぶりの8強進出はならなかった。

雨が降る中での試合となり、日本文理は三回、エース染谷崇史が四球を連発、守備の乱れも続き、無安打で4点を与えた。四回も安打と四球、失策が重なって7点を失い、大量リードを許した。四回途中で継投した箕浦環太は五～七回を抑えたが、八回につかまった。

攻撃では、三回に四球で出た2人の走者がいずれも捕手のけん制でアウトになり、チャンスをつぶした。安達煌栄（こうえい）千（ち）が五、八回にそれぞれ安打を放ったが、強力な投手陣と堅守の花咲徳栄から得点できなかった。

日本文理は1回戦で21世紀枠の高知農を8－1で下し、センバツで15年ぶりの白星を挙げた。